

3年目のがんサロン

8月22日、役場分庁2階で「みふねがんサロン いきいき茶論」が開催され、約20人が参加しました。同サロンは、がん患者や患者の家族らの体験や思いを語り合う場として設立され、毎月第4金曜日に開催されている、上益城郡で唯一のサロンです。サロンでは、県健康づくり推進課の職員によるがん対策の現状などについての講演が行われた後、いつものようにお茶を飲みながら語り合いました。

がんサロンについての問い合わせは、
馬場代表 (090-7533-4944) まで。



熊大の実習生を交えて談笑する参加者たち

全国ベスト8

8月2日から6日まで、滋賀県草津市で第28回全日本小学生男子ソフトボール大会が開催されました。7年連続で夏の全国大会に出場し、昨年3位の小坂ジュニアソフトボールクラブ(岩野勇監督、19人)は、1回戦を6対0で勝利すると、2回戦を2対1、3回戦も3対1と接戦を制し準々決勝に進出。準々決勝は両チーム譲らず延長8回まで進みましたが、惜しくも0対2で敗退。小坂ジュニアの今年の夏は、全国ベスト8という結果でした。



全国ベスト8の小坂ジュニアの選手たち



楽しく汗を流す会員たち

婦人会ミニバレー大会

8月29日、町スポーツセンターで町地域婦人会(増田幸子会長)のミニバレー大会が行われました。現在、町地域婦人会は、御船、七滝、木倉、滝尾、役場の5支部で活動を行っています。大会は、6チームが参加し、ミニバレーで楽しく汗を流しました。パート優勝の七滝支部と御船支部は郡大会に出場します。増田会長は「会員同士で親睦を深めながら、健康増進につなげて、今後も会員が増えるよう活動していきたい」と話しました。



プログラムは全4回にわたって行われた

初めての子育て

つどいの広場ゆう・ゆう主催の親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」(BPプログラム)が行われました。このプログラムは、初めての赤ちゃんに対する育児の基礎知識を学ぶことや、親同士の仲間作りを目的に実施されています。今回は10組の親子が参加。参加者は「初めての子育てで楽しめていなかった。いろんな人の話を聞いてよかった」「24時間一緒にいる今の時期を大切にしたい」と感想を話しました。

よ〜く狙って

8月31日、田代東部公民館横グラウンドで、田代東部地区体育協会(宮村幸盛会長)主催のペタンク大会が開催され、地域住民約80人が参加しました。ペタンクは、直径3㍓の目標玉(ビュット)の近くに、金属製ボールを投げて寄せる競技で、1チーム6球ずつ投げて競います。宮村会長は「ペタンクは、子どもから高齢者が簡単にできる競技で、幅広い年代で楽しむことができる。みんなが楽しめる競技として今後も続けていきたい」と話しました。



参加者が見守る中、ボールを投げる参加者

硬式野球3年生最後の大会

8月15日、九州、山口地区の中学生硬式野球クラブを決める大会、2014ホークスカップ中学硬式野球大会がヤフオクドーム(福岡県)で開催され、各リーグの代表20チームが参加しました。3年生にとって最後の大会となります。ボーイズリーグ中九州支部予選決勝を逆転勝利して初出場を決めた上益城ボーイズ(岩本和明監督、20人)は、1回戦で惜しくも敗退(0対0の抽選)しました。



岩本監督の指示を受ける選手たち



うれしそうにスイカを抱く田端さん

ばあちゃんのスイカ

「こんな大きなスイカが採れたのは初めてです」と満面の笑顔で話す田端縫子さん(田代)。現在97歳の田端さんの日課は、毎日の家庭菜園で野菜を作ること。玄関からお気に入りの電動車に乗り、畑まで移動します。自慢の家庭菜園にはスイカやカボチャなどが植えられており、田端さんは「今まで育ててきたスイカのなかで一番大きなスイカが採れてとてもうれしかった。来年はまだ大きなスイカを作りたい」とスイカを抱いて喜びました。



作者の河地さん(左)と増永教育長(右)

町内の小中学校へ本を寄贈

8月20日、河地和一さん(木倉)が原作と絵を手掛けた本「ガオー!ガ王のキバがおれたわけ〜ハナとのであい編〜」を、町内の小中学校に寄贈しました。河地さんは「絵本は、子どもたちに愛や夢、冒険の素晴らしさが伝わるようにとの思いで書いた。また、いつか世界に羽ばたけるようにとの思いも込め、英語に翻訳した。たくさん子どもたちに読んでもらえるとうれしい」と話しました。